

**クラウドファンディングプロジェクト終了まであと20日!**

**目標金額達成まであと138万8千円! (10/9現在)**

**『【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。』**

**さらなるご支援をお願いいたします**

9月9日にスタートした、当館の平成26年度運営費等の支援募集の経過をご報告いたします。

プロジェクト開始から約一か月経過し、集まった支援金額は141万2千円、116人の方からご支援いただきました(10/9現在)。この図書館の意義を認めてくださった皆様より、多大なご支援をいただきましたこと、感謝に堪えません。

目標金額は280万円で、プロジェクト達成のためには、あと138万8千円集める必要があります。

募集期間終了日は10月29日です。残りの20日間、目標に向かって、スタッフ一同頑張りたいと思います。

無事プロジェクトが達成できるよう、ぜひ周りのみなさまに、このプロジェクトをお知らせ頂き、ご支援の輪を広げて頂けますようご協力宜しくお願い申し上げます。

くわしくは、下記のURLまたはQRコードからプロジェクトページをご覧ください

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan3>



【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。

by 武藤祥子

観る事が叶わない過去の舞台、映像が失われた映画。貴重な記憶をとどめる台本やプログラムを保存する、演劇と映画の専門図書館・松竹大谷図書館の運営資金筹集と、5千枚以上所蔵する芝居番付を「デジタル化」し、未来へつなぐプロジェクト。

達成率	達成金額	残り
50%	1,412,000円	20日

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトで集める支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、寄付者への税制の優遇措置は受けられません。

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『劇場版カードファイト!! ヴァンガード 3つのゲーム』	○		○		
『劇場版カードファイト!! ヴァンガード ネオンメサイア』			○		
『 柘 榴 坂 の 仇 討 』	○	○	○		○
『 劇 場 版 稲 川 怪 談 か たり べ 』	○	○	○		
『 マ ザ ー 』	○	○	○		○

(新着資料案内 続き)

■ 映画プログラム ■

- |                                |                              |                |
|--------------------------------|------------------------------|----------------|
| 『フルスロットル』                      | 『るろうに剣心 伝説の最期編』              | 『NY心霊捜査官』      |
| 『ファーンナス 訣別の朝』                  | 『記憶探偵と鍵のかかった少女』              | 『ジャージー・ボーイズ』   |
| 『LUCY ルーシー』                    | 『ルパン三世』                      | 『マルティニークからの祈り』 |
| 『プロミスト・ランド』                    | 『GODZILLA ゴジラ』               | 『エイトレンジャー2』    |
| 『ガンダム Gのレコンギスタ 特別先行版』          |                              | 『思い出のマーニー』     |
| 『STAND BY ME ドラえもん』            | 『グレート デイズ! 夢に挑んだ父と子』         |                |
| 『ピカチュウ、これなんのカギ?』               | 『ポケモン・ザ・ムービー XY 破壊の繭とディアンシー』 |                |
| 『プレーンズ2 ファイアー&レスキュー』           | 『トランスフォーマー ロストエイジ』           |                |
| 『トランスフォーマー アルティメット・トイガイド2014』  |                              |                |
| 『TOKYO FANTASY SEKAI NO OWARI』 |                              |                |

■ 松竹系 9月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『鬼一法眼三略巻 菊畑』	○			
	『隅田川続佛 法界坊 浄瑠璃 双面水照月』	○			
	『絵本太功記 尼ヶ崎閑居』	○		○	○
	『連獅子』				
	『曾我綉侠御所染 御所五郎藏』	○			
新橋演舞場	『天一坊秘聞 八百万石に挑む男』		○	○	○
	『<昼夜別構成>シアターコンサート』		○		
	第90回銀座くらま会			○	
日生劇場	『台風 Dreamer タイフーン・ドリーマー』	○	○		
南座 (京都)	『通し狂言 壽三升景清』	○		○	○
松竹座 (大阪)	『ピーターズ レヴュー』			○	○
	『愛の讃歌 越路吹雪を慕って』			○	○
	『道頓堀パラダイス』	○		○	○
地方巡業	『小栗栖の長兵衛』	○			
	『四代目市川猿之助 九代目市川中車襲名披露口上』			○	
	『義経千本桜 川連法眼館』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

- |          |    |   |
|----------|----|---|
| アトリエ乾電池  | 8月 | 劇団東京乾電池『寝られます』プログラム                       |
| 生野メインホール | 9月 | 『人情喜劇 銀の馬車道 第2話』プログラム                     |
| 大阪新歌舞伎座  | 8月 | 『前川清納涼公演』プログラム                            |
|          | 9月 | 『天童よしみ昭和を歌う』プログラム                         |
| 吉祥寺シアター  | 8月 | め組『祀MATSURI』プログラム                         |
| 紀伊國屋ホール  | 8月 | 人形劇団ブーク『三びきのやぎのがらがらどん』『こどものための人形風土記』プログラム |
|          | 9月 | 青年劇場『羽衣House』プログラム、台本                     |
| 京都劇場     | 8月 | 三谷文楽『其礼成心中』プログラム                          |
| ザ・スズナリ   | 9月 | 劇団ジャブジャブサーキット『ディラックの花嫁』プログラム              |
| シアターオーブ  | 8月 | 『バベル[WORDS]』プログラム                         |
| シアタークリエ  | 8月 | 『ONE-HEART MUSICAL FESTIVAL』プログラム         |
|          | 9月 | 『シェルブールの雨傘』プログラム                          |
| シアターコクーン | 8月 | 『炎立つ』プログラム                                |

四季劇場・秋	8月	劇団四季ミュージカル『ジョン万次郎の夢』プログラム
新国立劇場中劇場	9月	『三文オペラ』プログラム
新宿ゴールデン街劇場	9月	unk s 『かごの鳥/命を弄ぶ男ふたり』プログラム
SPACE雑遊	9月	自転車キンクリートSTORE 『サバイブ!』プログラム
タイニイ・アリス	8月	中津留章仁L o v e r s 『八月の雹』プログラム
帝国劇場	8月	『ミス・サイゴン』プログラム
	9月	『DREAM BOYS』プログラム
TRUMP ROOM	9月	風琴工房『わが友ヒットラー』プログラム
日本橋劇場	8月	尾上松也・歌舞伎自主公演『挑む』プログラム
	9月	『やごの会 坂東彌十郎・坂東新悟親子会』プログラム
俳優座劇場	9月	オペラシアターこんにやく座『おぐりとてて』プログラム
博品館劇場	8月	『ハーティーパーティ!メガパニック!!!』プログラム
		『国民文化祭・あきた首都圏まつり2014』プログラム
		くまのがっこうチャリティミュージカル『ジャッキー!』プログラム
		TEAM54『のらん』プログラム
文学座稽古場	9月	シェイクスピアリーディング『新ハムレット』プログラム
パルコ劇場	8月	『君となら』プログラム
		『ショーガール こんな出会いも悪くない』プログラム
本多劇場	8月	ヨーロッパ企画『ビルのゲーツ』プログラム
HOPE	9月	9 P r o j e c t 『ストリッパー物語』プログラム
明治座	8月	『島津重矢特別公演』台本

## ■ 演劇雑誌 ■

『AAC』Vol. 72-79, Vol. 81	『伝統文化新聞』2014年99号, 100号
『あぜくら』2014年9月号	『日本舞踊』66巻10月号
『Confetti』2014年SEPTEMBER, OCTOBER	『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年10月号
『演劇ぶっく』2014年10月号	『日本照明家協会誌』2014年8月号, 9月号
『演劇界』2014年11月号	『悲劇喜劇』2014年10月号
『大向う』平成26年10月号	『ひろば』131号
『喝采』2014年12月号、12月特別号	『文楽通信』17号
『芸劇BUZZ』9号	『ほうおう』2014年11月号
『国立演芸場公演ガイド』平成26年10月号	『邦楽の友』平成26年10月号
『the座』81号	『ミュージカル』2014年9月-10月号
『シアターガイド』2014年11月号	『ラ・アルプ』2014年10月号
『ステージぴあ』2014年9+10月号	
『テアトロ』2014年10月号	

## ■ 映画雑誌 ■

『映画時報』2014年7月号, 8月号, 9月号	『シネフェックス』2014年No. 34
『映画テレビ技術』2014年10月号	『松竹社報』2014年183号
『映画秘宝』2014年11月号	『SCREEN』2014年11月号
『衛星劇場プログラムガイド』2014年10月号	『ドラマ』2014年10月号
『キネマ旬報』2014年10月上旬号, 10月下旬号	『日経エンタテインメント!』2014年10月号
『シナリオ』2014年11月号	『文化通信ジャーナル』2014年5月号-8月号
『シナリオ教室』2014年10月号	『ムービー・スター』2014年11月号
『シネビ・エイジ』No. 630-No. 637	『ロケーションジャパン』2014年10月号

## 展示

- 「開校80周年記念展」 2014年9月より10月 品川区立旗台小学校内歴史資料室  
映画プレスシート『えんぴつ泥棒』を展示に提供。また、「開校80周年記念誌」掲載にも提供
- 歌舞伎座ギャラリー「歌舞伎は旅する大使館展（後期）歌舞伎ファンを世界に」  
2014年9月4日より2015年1月25日  
松竹が製作した第31回から第67回までの歌舞伎海外公演の資料と、戦前筋書の挿絵4カットを展示に使用
- 「川上音二郎生誕150年記念 世界を歩いた！音貞展」 2014年9月7日より28日 茅ヶ崎市美術館  
青木家旧蔵川上音二郎一座資料アルバムより「川上音二郎一座欧米興行関係より 萬松園での集合写真」をパネル展示に提供
- 「コレクターズテラス」 2014年9月10日 寺田倉庫株式会社ギャラリー「テラトリア」  
弦屋光溪版画・大首絵シリーズ5点を展示に提供

## 出版

- 『松竹 ISSUE 九月社報183』 2014年9月22日 松竹株式会社  
『松竹社報』第102号（1958年10月）・第150号（1962年10月）の図版を提供
- 『伊藤熹朔 舞台芸術の巨人』 2014年9月25日 俳優座劇場編・NHK出版  
伊藤熹朔舞台装置図92点の図版を提供
- 『銀座くらま会90 銀座の粋と心意気』 2014年9月26日 銀座くらま会  
銀座くらま会プログラムの表紙5点の図版を提供

## プログラム掲載

- 「八月納涼歌舞伎」 2014年8月5日より27日 歌舞伎座  
スチール写真『たぬき』（昭和28年7月新橋演舞場上演）を公演プログラムの記事に提供

## 放送

- 「池波正太郎の世界へようこそ 第2章 池波散歩 第四回：善光寺～湯田中温泉」  
2014年8月16日（ほか再放送あり） 時代劇専門チャンネル  
スチール写真「十五代目市村羽左衛門肖像」と『色彩間苺豆』与右衛門（十五代目市村羽左衛門）を、湯田中温泉を紹介する部分に提供

## 専門図書館協議会主催松竹大谷図書館見学会報告

9月25日（木）、専門図書館協議会主催の当館見学会が行われました。参加申込はキャンセル待ちが出る程の人気だったそうで、当日は会員の参加者13名、協議会事務局より2名、計15名をお迎えし、集合場所となった当館の閲覧室は、一杯となりました。

まず、当館事務局の武藤から、当館の概要、資料の特色、図書館システムを利用した当館独自の資料の整理方法を、演劇作品の資料一式と、映画作品の資料一式を、書庫案内では広げてお見せするのが難しいポスターや、台本などをご紹介しながら説明しました。また、今年で3回目を迎えるクラウドファンディングの、これまでの経緯や、今回のプロジェクトについてご報告しました。

その後、2つのグループに分かれて、ガイド役のスタッフが書庫内を1時間程ご案内しました。中でも、書架にずらりと並んだ台本が、保護用の手作りカバーに納まっている様子や、写真資料1枚1枚の裏に、タイトル・演者・場面などを記入している点など、資料を丁寧に整理している点に注目が集まり、見学会後のアンケートでも大変評価して頂きました。書庫内ご案内後は、質疑応答の時間を設け「他館との連携は行っているか」「スタッフはどのようにスキルアップしているか」など図書館関係者ならではのご質問を受けました。熱心な質問は続き、予定時間を20分ほどオーバー、合わせて約2時間の見学会となりました。今回の見学会はご依頼から開催までの期間が短く、綿密な準備はできませんでしたが、普段通りの当館とその仕事をお見せした結果、専門図書館のスタッフである見学者の方々より、細かい手仕事に対して評価をいただいた事は、スタッフにとって大変喜ばしい事でした。



## 第 47 回所蔵資料展示

# 「十七代目中村勘三郎・十八代目中村勘三郎」展

展示期間:2014年9月26日～10月29日/於 閲覧室



閲覧室内での『十七代目中村勘三郎・十八代目中村勘三郎』展の様子

今月の所蔵資料展示は、「十七代目中村勘三郎・十八代目中村勘三郎」展と銘打って、様々な役柄を魅力的に演じられたお二人の資料をご紹介します。

そもそも、「中村勘三郎」という名前は、江戸歌舞伎の始祖で名誉ある大名跡です。初代勘三郎は、江戸時代初期の歌舞伎役者で、江戸初の常設芝居小屋・猿若座(中村座)の座元でもありました。初期歌舞伎の時代、おかしみのある演技を見せ、喝采を浴びていた道化役の猿若を主人公にした狂言『猿若舞』。その名手として江戸中の人気を集めていた初代勘三郎が、1633年〔寛永9年〕、幕府の御用船「安宅丸」の江戸入港の際に、その船先で船唄を歌って見事に音頭をとった褒美として、陣羽織などと一緒に船覆いに使われた御用幕を拝領したエピソードも有名です。この幕を芝居の引幕にしたことから、それが後の定式幕になったと言われていいます。江戸一番の劇場の座元名として明治中期まで名前が受け継がれていましたが、その後長らく名乗る者のいない「預かり名跡」となってしまいました。しかし、1950年〔昭和25年〕、十七代目の中村勘三郎が、座元としてではなく役者として、その大名跡を見事に復活させました。

『平家女護島』俊寛、『高坏』、『仮名手本忠臣蔵』の力弥・勘平・おかる・由良之助・高師直、『隅田川続佛』法界坊・野分姫・おくみ、『釣女』醜女、『末摘花』末摘花、『連獅子』、『春興鏡獅子』、など、実に800以上の役を演じて、ギネスブックにも認定されたほか、重要無形文化財保持者(人間国宝)に指定されるなど、名実ともにその名跡の地位を現代でも確立しました。

後を継いだ十八代目中村勘三郎もまた、八月の歌舞伎座での納涼歌舞伎を興したほか、江戸時代の芝居小屋を再現した平成中村座の立ち上げ、串田和美とのコクーン歌舞伎、野田秀樹との『野田版 研辰の討たれ』『野田版 鼠小僧』、渡辺えりとの『今昔桃太郎』、宮藤官九郎との『大江戸りびんぐでっど』など、現代の劇作家たちとのコラボレーションを次々行うなど、古典の型を大切にしながら、かつ、常に歌舞伎の新しい可能性を模索し、開拓していきました。二代に亘って受け継がれる芸の数々……当たり役は尽きません。

資料を選定するに当たり、お二人とも実にバラエティに富んだ役柄や、舞台以外にも多くのTV、映画などに出演されていて、その多才ぶりを改めて実感し、圧倒されました。今回の展示でご紹介できるのはほんの一端ではありますが、それだけでも、お二人の演じることへの思いや、脈々と受け継がれていく「芸と心」に出会える、そんな気がいたします。

10月の歌舞伎座、11月の新橋演場公演では、このお二人を偲んで、追善興行が行われます。十七代目・十八代目とゆかりある人たち、狂言、そして息子や孫へ連綿と受け継がれていくさまを目の当たりにする二か月間になるので、と今から楽しみです。

### ◆展示資料作品一覧◆

#### ▽上段 ●スチール写真

1. 『二條城の清正』(昭和10年1月歌舞伎座)  
加藤清正(初代中村吉右衛門)、豊臣秀頼(四代目中村もしほ＝十七代目中村勘三郎)
2. 『上覧猿若舞』(昭和25年1月東京劇場)  
◆十七代目中村勘三郎襲名披露  
猿若勘三郎(もしほ改め十七代目中村勘三郎)
3. 『隅田川続佛 法界坊 双面水照月』(昭和50年2月新橋演舞場)  
野分姫の霊(十七代目中村勘三郎)
4. 『平家女護島 俊寛』(昭和54年4月歌舞伎座)  
俊寛(十七代目中村勘三郎)
5. 『昔噺桃太郎』(昭和34年4月歌舞伎座)  
◆五代目中村勘九郎初舞台  
桃太郎(五代目中村勘九郎＝十八代目中村勘三郎)、鬼(十七代目中村勘三郎)
6. 『お祭り』(昭和60年9月歌舞伎座)  
鳶頭鶴松(十七代目中村勘三郎)
7. 『連獅子』(昭和44年4月歌舞伎座)  
狂言師右近のち親獅子の精(十七代目中村勘三郎)  
狂言師左近のち仔獅子の精(五代目中村勘九郎＝十八代目中村勘三郎)
8. 新派 花柳十種の内『鶴八鶴次郎』(平成13年7月新橋演舞場)  
鶴賀鶴次郎(五代目中村勘九郎＝十八代目中村勘三郎)、  
鶴賀鶴八(二代目水谷八重子)
9. 『野田版 研辰の討たれ』(平成17年5月歌舞伎座)  
◆十八代目中村勘三郎襲名披露  
(中央)守山辰次(勘九郎改め十八代目中村勘三郎)

#### 10. 新歌舞伎十八番の内『春興鏡獅子』(平成21年1月歌舞伎座)

小姓弥生後に獅子の精(十八代目中村勘三郎)

#### 11. 『お祭り』(平成23年11月平成中村座〔浅草〕)

鳶頭鶴松(十八代目中村勘三郎)

#### ▽下段

1. 『自伝 やっぱり役者』●図書  
十七代目中村勘三郎著(文藝春秋)
2. 『吉例 初春興行大歌舞伎 十七世中村勘三郎襲名披露』  
●プログラム(昭和25年1月東京劇場)
3. 『十七世中村勘三郎襲名披露 口上』  
●スチール写真(昭和25年1月東京劇場)  
もしほ改め十七代目中村勘三郎
4. 『音楽劇 若きハイデルベルヒ』  
●プログラム、スチール写真(昭和52年8月日生劇場)  
ケティ(大竹しのぶ)、カール(五代目中村勘九郎＝十八代目中村勘三郎)
5. NHK大河ドラマ・ストーリー『元禄繚乱 後編』●図書  
原作:舟橋聖一、脚本:中島丈博、主演:大石内蔵助(五代目中村勘九郎＝十八代目中村勘三郎)
6. 『勘三郎 平家女護島 俊寛 三島村歌舞伎 写真集』●図書  
(三島村発行)
7. 『中村勘三郎 楽屋ばなし』●図書 関容子著(文藝春秋)
8. 『中村屋三代記 小日向の家』●図書  
五代目中村勘九郎＝十八代目中村勘三郎他著(集英社)
9. 『中村勘九郎 歌舞伎ツタ!』●図書  
五代目中村勘九郎＝十八代目中村勘三郎著(アスペクト)
10. 『襲名十八代 これは勘三郎からの恋文である』●図書  
十八代目中村勘三郎著(小学館)

## ≫≫ 展覧会紹介

松竹大谷図書館がこの秋、所蔵資料を出展している展覧会をご紹介します。

### ●歌舞伎座ギャラリー「歌舞伎は旅する大使館」展（【後期】「歌舞伎ファンを世界に」）

2013年の第五期歌舞伎座開場と同時に、歌舞伎座タワー5階にオープンした歌舞伎座ギャラリーでは、1周年を迎えたこの春から、海外での歌舞伎公演を紹介する「歌舞伎は旅する大使館」展を開催しています。4月2日（水）～8月24日（日）に開催された前期展示「海外公演、その輝かしい歩み」に続き、9月4日より後期展示「歌舞伎ファンを世界に」が始まっています。

後期では、平成2年(1990年)以降より最新の海外公演までをご紹介します。

入って右手にあるコーナーでは、「歌舞伎とNY」と題し、歌舞伎とニューヨークの関わりについてご紹介しています。この7月に行われた最新の平成26年(2014年)平成中村座NY公演のレポートも紹介されています。

台本やプログラム、ユニークなものでは英語で書かれた注意書など、ニューヨークでの熱気が伝わってくる資料が展示されています。

また、公演で使用された「ボテ」と呼ばれる衣裳箱も展示されていますが、衣裳だけでなく、身の回りのものなど、公演に必要な様々なものが詰められて、運ばれたそうです。

その右隣のコーナーでは、平成2年(1990年)以降の海外公演の記録を、一公演ずつパネルにおこして展示していますが、その各々のパネルのアイコンとして使われているものの多くは、当館で所蔵しているプログラムやポスターなどです。とても見やすく、わかりやすくデザインされており、日本が誇る歌舞伎の魅力が、余すことなく伝わるパネルになっています。NYレポート、海外公演での裏方の役割を紹介した「スタッフ図鑑」とともに、海外公演の現在をリアルにお伝えしています。

また、海外公演で1990～2014年の期間に上演された演目のうち、上演回数トップ3の『連獅子』『棒しばり』『藤娘』の鬘、衣裳、小道具の実物展示とともに、人気の鳴物（鐘や太鼓など）体験コーナーも設けられています。10月中旬からは、歌舞伎独特のメイキャップ“隈取”を実際に紙に描いてみるイベントも始まるそうです。

前期同様、この後期展にも当館の資料を多数出展協力していますので、歌舞伎座や当館へおいでの折は、ぜひお立ち寄りください。

また、現在募集中のクラウドファンディングプロジェクト「【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ」では、歌舞伎座ギャラリーの御好意を得て、3万円以上ご協力いただいた方を、当館のスタッフが特別にご案内するガイドツアーにお招きいたします。演劇・映画の専門図書館の司書ならではの視点で、歌舞伎の海外での活躍の歴史を、ご紹介したいと思います。こちらもどうぞよろしくお願ひします。

会期：2014年9月4日（木）～2015年1月25日（日）

※2014年12月27日（土）より2015年1月1日（木・祝）の年末年始は休館

会場：歌舞伎座ギャラリー 東京都中央区銀座四丁目12番15号 歌舞伎座タワー5階

開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

※2014年10月24日（金）は14時開館

<http://www.shochiku.co.jp/play/kabukiza/gallery/>



# 立命館大学アート・リサーチセンター見学及び 日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点キックオフシンポジウム参加報告

2014年9月27日 参加者：井川 繭子

京都にある立命館大学アート・リサーチセンターは、1998年の設立以来、在外美術品を含む日本文化資源のデジタル・アーカイブ・データベースを整備してきた。所蔵する資料には、浮世絵や陶磁器などと並んで、演劇・映画資料も多く含まれており、当館とはこれまでも寄贈資料の受入体制や演劇上演記録データベース構築などの部分に、多大なご協力をいただいている機関である。

このたび、このアート・リサーチセンターが文部科学省の共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」として認定され、公募型の研究プロジェクトを実施することになった。今年度そのうちのひとつに、当館との共同プロジェクト「演劇上演記録のデータベース化と活用ならびに汎用利用システム構築に関する研究」が採択されたのを受けて、開催されたシンポジウムに参加してきた。

このプロジェクトは、当館が設立以来記録し続けてきた演劇の上演記録（いつ、どこで、何を上演したか）を、手書きのカード式から、データに移して、さらに専門家による考証を進めて精緻化し、演劇の資料館にとって必要不可欠な、基盤となる演劇上演記録データベースを構築しようというものである。おそらく歴代の担当者もそして私たちも、研究というよりむしろ日常業務の必要に迫られて作成してきたものだが、このデータを日本演劇の研究に役立つデータベースとして広く利用できるようにすることを目指して、今回の共同研究という形をとることになった。

まずシンポジウムの前に行われたアート・リサーチセンターの見学会に参加した。スタッフの方が館内を1階から3階まで案内していただいた。1階には演劇と映画資料・美術品・映像フィルムがそれぞれ3つの資料保管庫に分けて納められており、収蔵する資料によって異なる温度・湿度で管理されている。そしてその収蔵品をデジタルへ変換するための撮影設備がある部屋、また資料展示ができる閲覧室もある。2階にはデジタル化された資料を書誌情報などと共にアーカイブしたり、映像資料をデジタル化するための機材が備えてあり、3階には研究室があって、各種研究のために使用できるスペースとなっている。必要な設備・機材は揃っている上に、そしてここが大事なところだと思うが、立命館大学の学生がデータベースを運用・管理するスタッフとして参加しており、教育的機関としても機能している。

シンポジウムは2階の多目的ルームで行われた。この部屋の床は檜張りで、周囲にビデオカメラが配置されており、実際に能や舞踊の公演やモーションキャプチャーの撮影もできる設備が備わっている。シンポジウム当日は床がカーペットで覆われていて、保護のため参加者もスリッパに履き替えたのだが、ガラスを隔てたスタジオではシンポジウムの様子を撮影し、ユーストリームにより同時配信された。おかげで東京にいる当館の職員も視聴できたそうである。

シンポジウムでは、趣旨説明や基調講演のあと、採択された11のプロジェクトの各担当者がその概要を10分で説明するというものだった。制限時間内では、おおまかな話ではあったが、写真を多く使い、当館の紹介や実施中のクラウドファンディングの話も盛り込んで説明した。他のプロジェクトの発表もそれぞれ興味深く、日本文化資源をデジタル化することによって、世界の研究者も注目する業績を上げているアート・リサーチセンターならではのシンポジウムであると思った。

シンポジウムについて ⇒ <http://www.arc.ritsumei.ac.jp/lib/JURC/activity/sympo/post-5.html>

日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点について ⇒ [http://www.arc.ritsumei.ac.jp/works\\_jurc.html](http://www.arc.ritsumei.ac.jp/works_jurc.html)

立命館大学アート・リサーチセンターについて ⇒ <http://www.arc.ritsumei.ac.jp/index.html>



アート・リサーチセンター外観



1階資料保管庫



2階多目的ルーム



2階スタジオ

## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2014（平成26）年9月にご支援いただきました

#### 法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

#### 個人（50音順・敬称略）

谷本宗生

中島進

どうもありがとうございます

#### ■ お知らせ ■

▼引き続き、当館で使用している図書管理システムを新システムへ移行中につき、資料の新規登録が出来ない状態になっております。そのため今月の資料案内は「新着資料案内」のみとさせていただきます。

▼「朝日新聞」（10月7日朝刊21面掲載）の記事「be Extra AUTUMN『秋、知の世界へお出かけ』」に、個性豊かな図書館のひとつとして、取り上げていただきました。朝日新聞をご購読の方は、是非ご覧になってみてください。

#### ■ 編集後記 ■

▼今号は、展覧会の紹介やレポートなどがたくさんつまった、読み応えのあるニューズレターとなりました。ページ数も久しぶりに8ページに増えました。二年前の秋より、クラウドファンディングでの運営資金募集を始めたことで、当館にとってこの時季は、活動を広く伝えていく良い機会となっております。また、今回のレポートなどのように、紙面でお伝えすることによって、スタッフが自館の活動について、改めて見直すきっかけになっているように思います。これからも、皆様に当館のことをより知っていただけるよう、お伝えしていきたいと思っております。



- 利用案内 ●
  - 開館時間 ●
    - 平日午前10時～午後5時
    - 休館日
      - 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期 夏期 特別整理期間
  - 入館料 ●
    - 館内閲覧のみ 無料
  - 交通案内 ●
    - 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
    - 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分
- ※その他 臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。